

**TORO®**

**ポリカーボネート製ドアキット**  
**Workman® UTX 汎用作業車用**  
**モデル番号 08114**

**取り付け要領**

# 取り付け

## 付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

内容	数量	用途
必要なパーツはありません。	—	マシンの準備を行う。
必要なパーツはありません。	—	肩部保護材を取り外します。
左側ドアストラット用ブラケット 右側ドアストラット用ブラケット ストラットマウント ロックナット5/16"	1 1 2 2	ドアストラット用ブラケットを取り付けます。
左ドア 右ドア 左ドア用蝶番 右ドア用蝶番 フランジヘッドボルトM8 x 20 mm ナットプレート ガス充填スプリング ラッチブラケット ベレヴィールワッシャ皿ばね 平ワッシャ ストライカピン 六角ナット	1 1 2 2 12 6 2 2 2 2 2 2 2 2	ドアを取り付けます。

## マシンの準備を行う

1. 平らな場所に駐車する。
2. トランスミッションレバーを P (駐車) 位置にシフトする。
3. エンジンを止め、キーを抜き取る。



# 肩部保護材を取り外す

図1のように肩部保護材を取り外す。

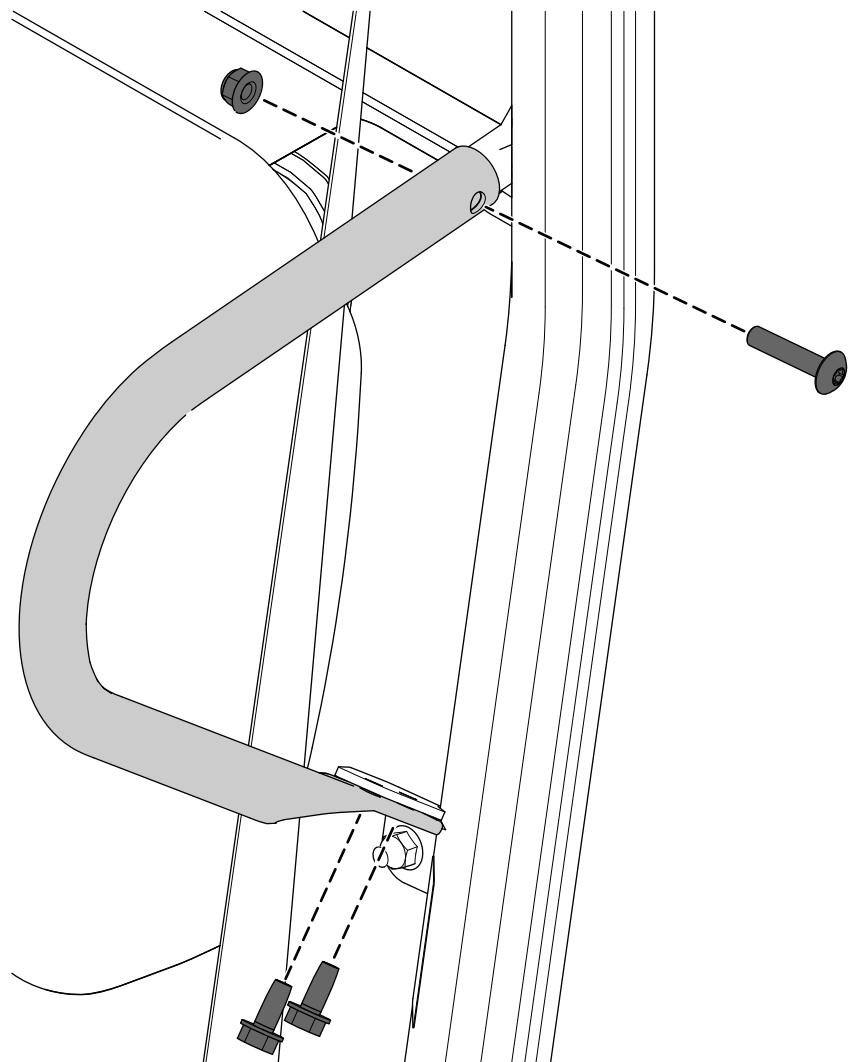


図1

g382696

# ドアストラット用ブラケットを取り付ける

- シートベルトの引き込み部を固定しているフランジヘッドボルト7/16 x 1"とロックナット7/16"を取り外す図2。

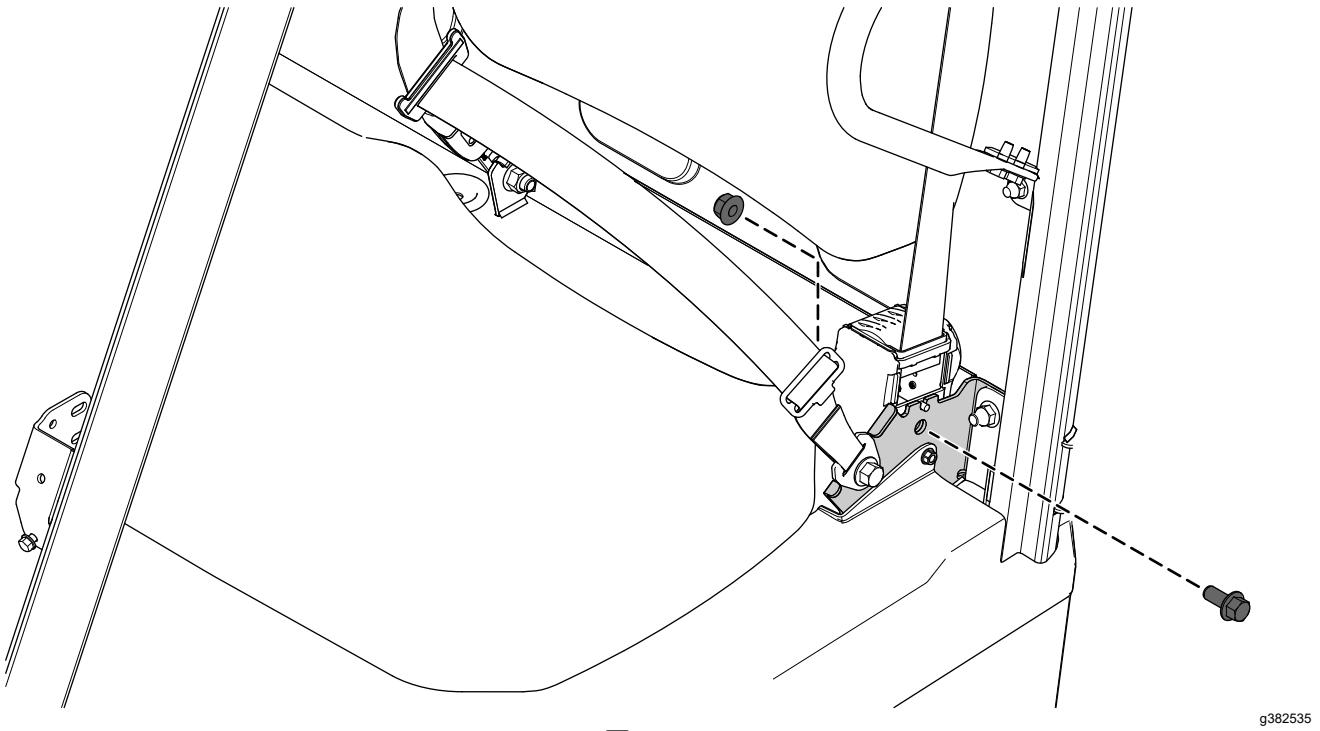


図 2

- 取り外したフランジヘッドボルト7/16 x 1"とロックナット7/16"を使用して、シートベルトブラケットに左側ドアストラット用ブラケットを取り付ける図3。
- フランジヘッドボルト 7/16 x 1"とロックナット7/16"を 70 N·m 7.4 kg.m = 52 ft-lbにトルク締めする。

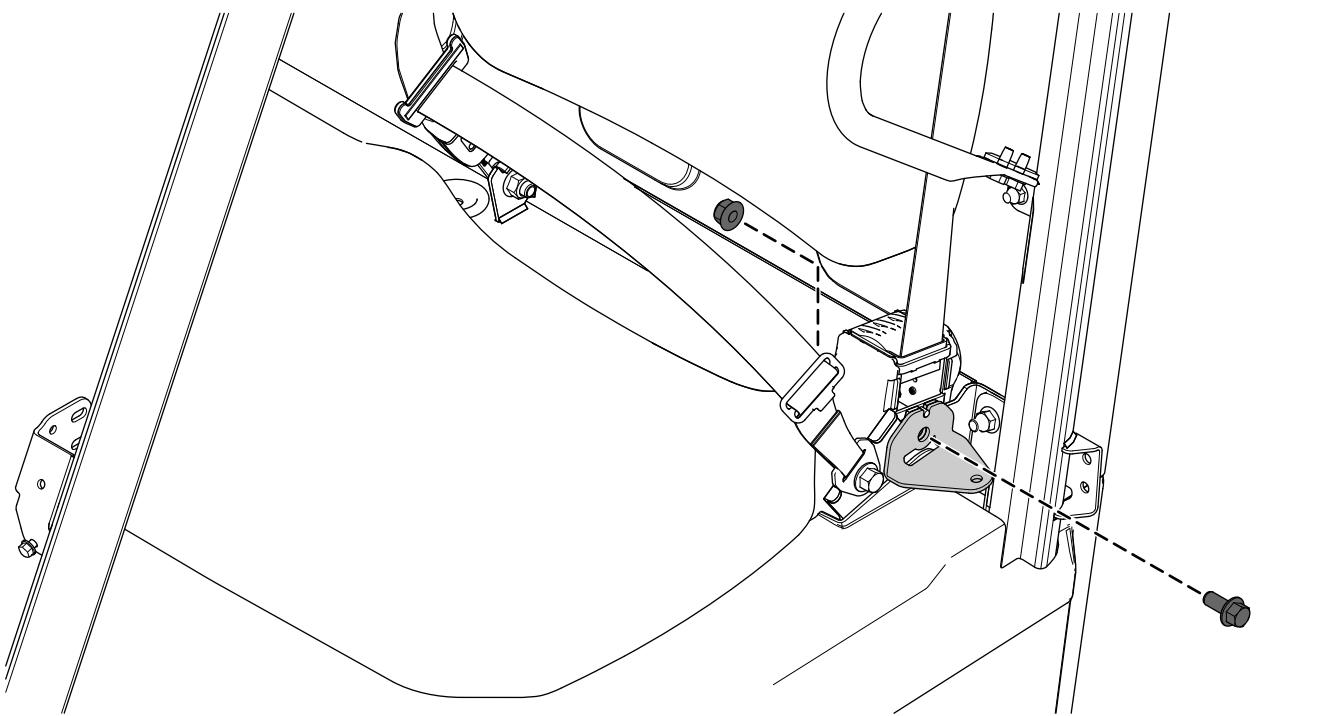
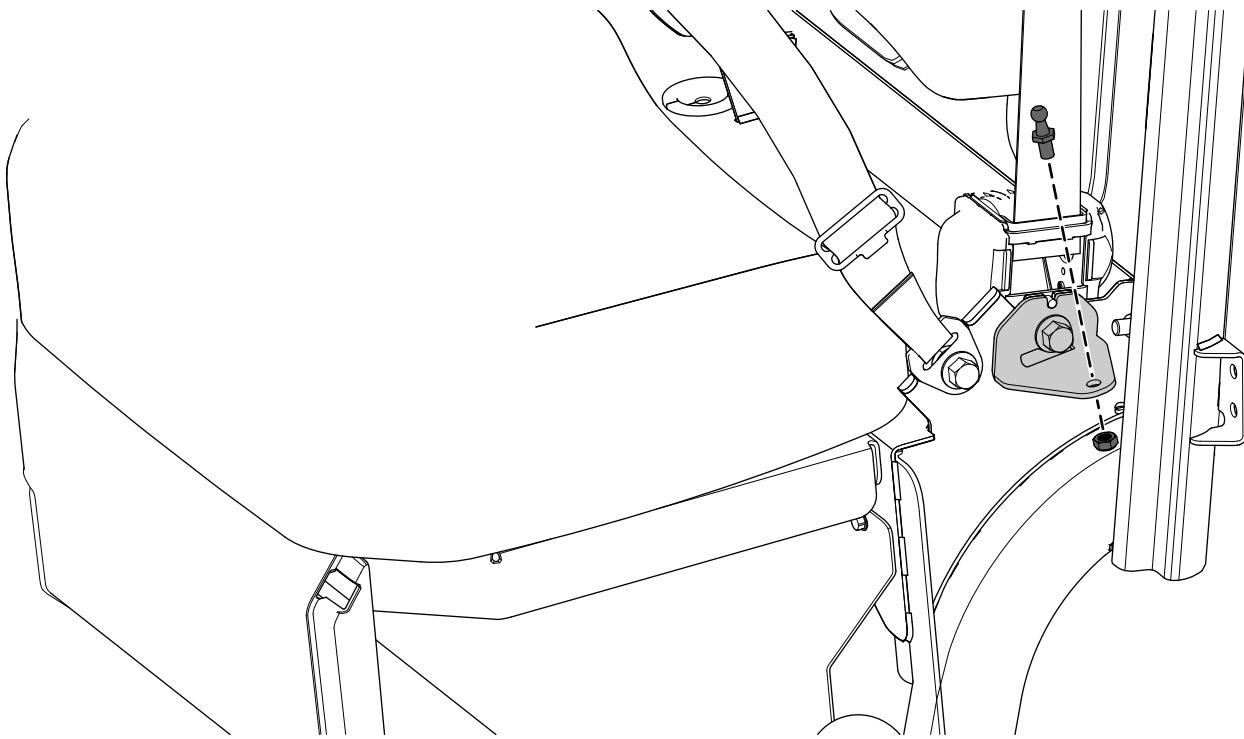


図 3

4. 図4のように、左側ドアラッチブラケットにストラットマウントを取り付けるロックナット5/16"を使用する。
5. ロックナット5/16"を 23 N·m $2.3\text{ kg}\cdot\text{m} = 200\text{ in-lb}$ にトルク締めする。



g382534

図4

- 
6. 機体の右側でも同じ作業を行う。

# ドアを取り付ける

- 左側ドア蝶番2個を、ROPS のドアピボットブラケットに仮止めするフランジヘッドボルトM8 x 20 mm4本とナットプレート2枚を使用する**図 5**。  
上下の蝶番ピンを整列させ、動かないようにフランジヘッドボルトM8 x 20 mm4 本を締め付ける。  
注 ボルトのトルク締めはステップ**8**で行います。

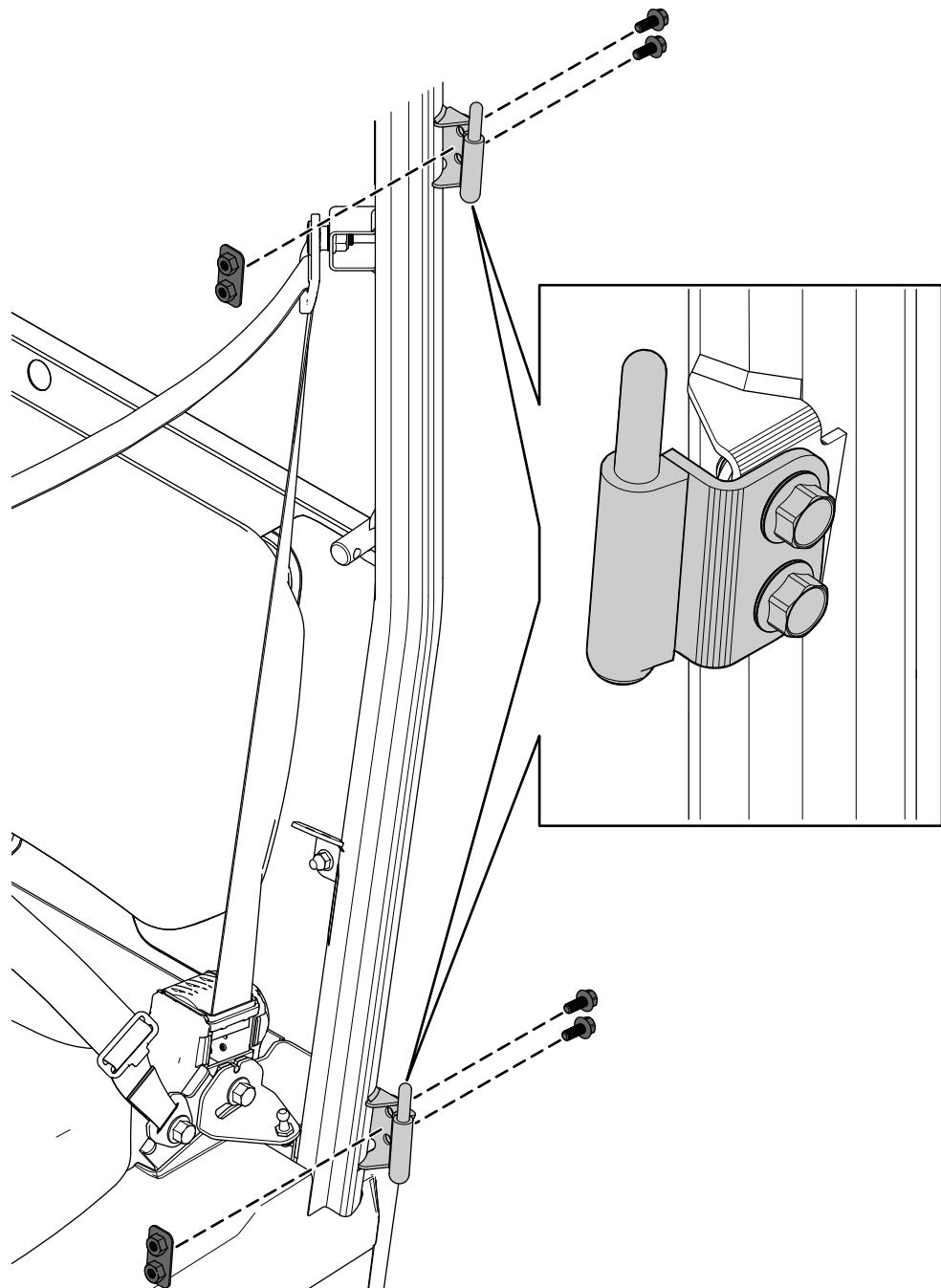
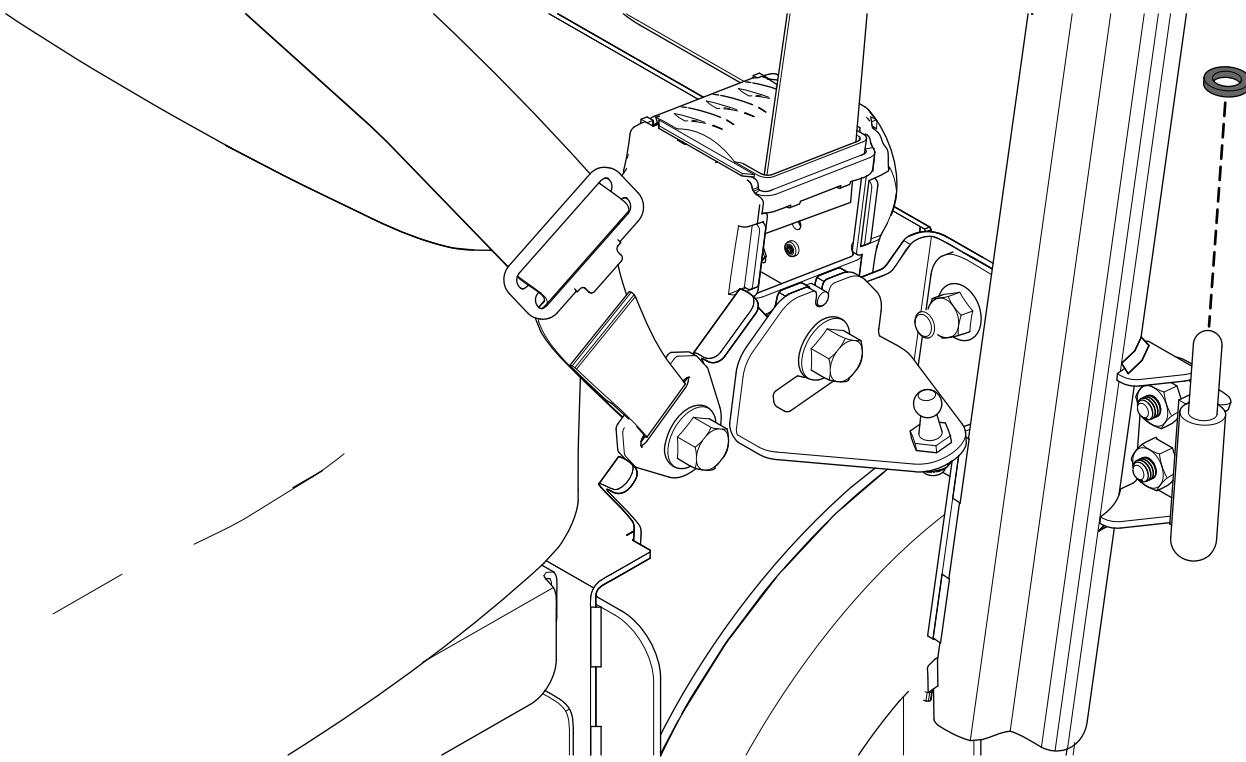


図 5

g383190

2. 左側ドア蝶番のそれぞれにスペーサワッシャを取り付ける図 6。



g382627

図 6

3. 蝶番に左側ドアを取り付ける。
4. ドア蝶番の六角ヘッドボルトのうち 3 本をゆるめる図 7。

ドアを閉じた状態にして、ドアを車両の開口部にぴったりと合わせ、ドアと車両とのすきまがドアの周囲全体で同じになっていることを確認する。ドアの取り付け位置が確定したら、六角ヘッドボルト 3 本を締め付ける。

注 ボルトのトルク締めはステップ8で行います。

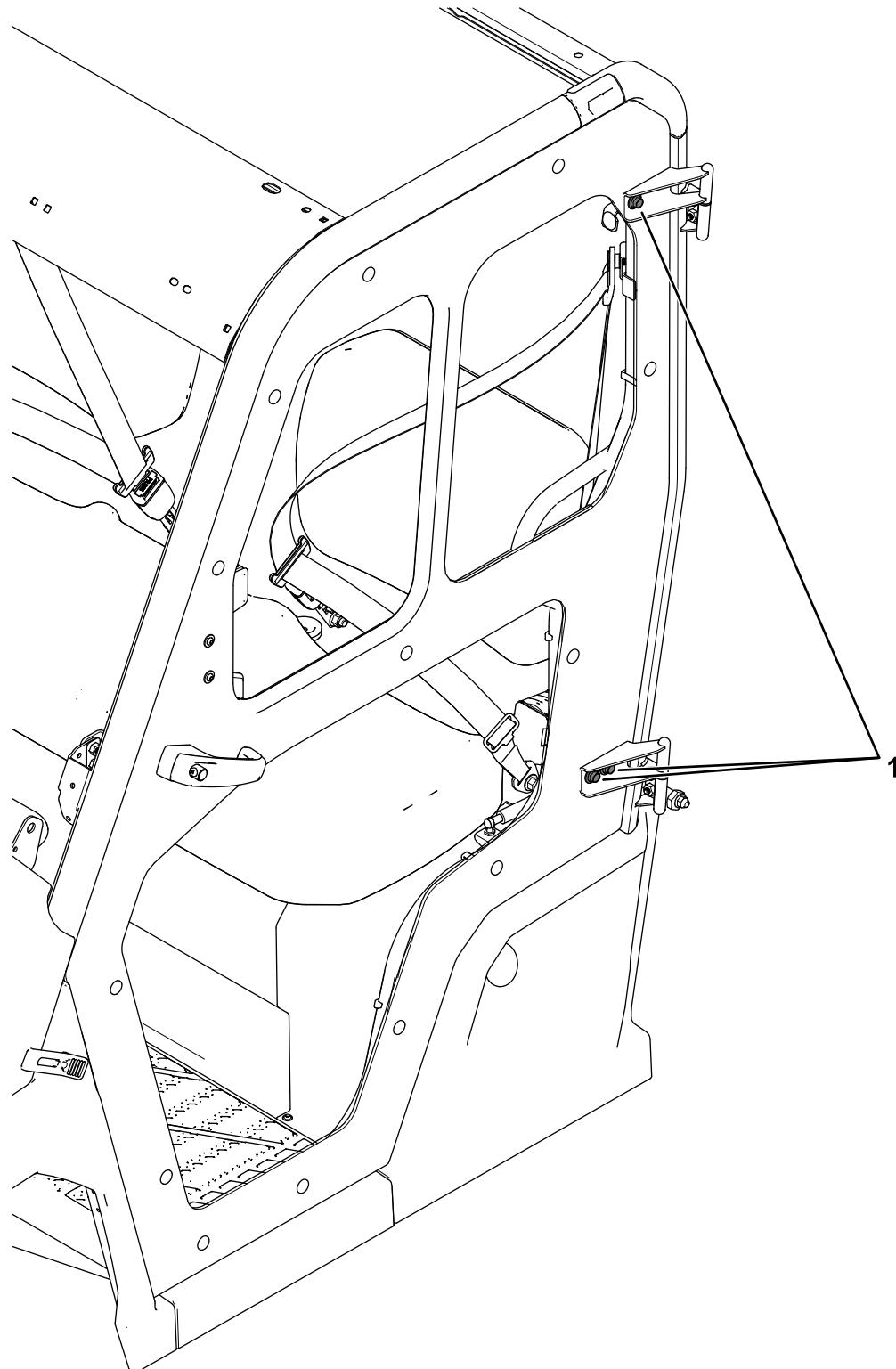


図 7

1. ドア蝶番の六角ヘッドボルト

5. 左側ストラットマウントにガススプリングを取り付ける図 8。

ガススプリングの向きは図 8に示す通り。

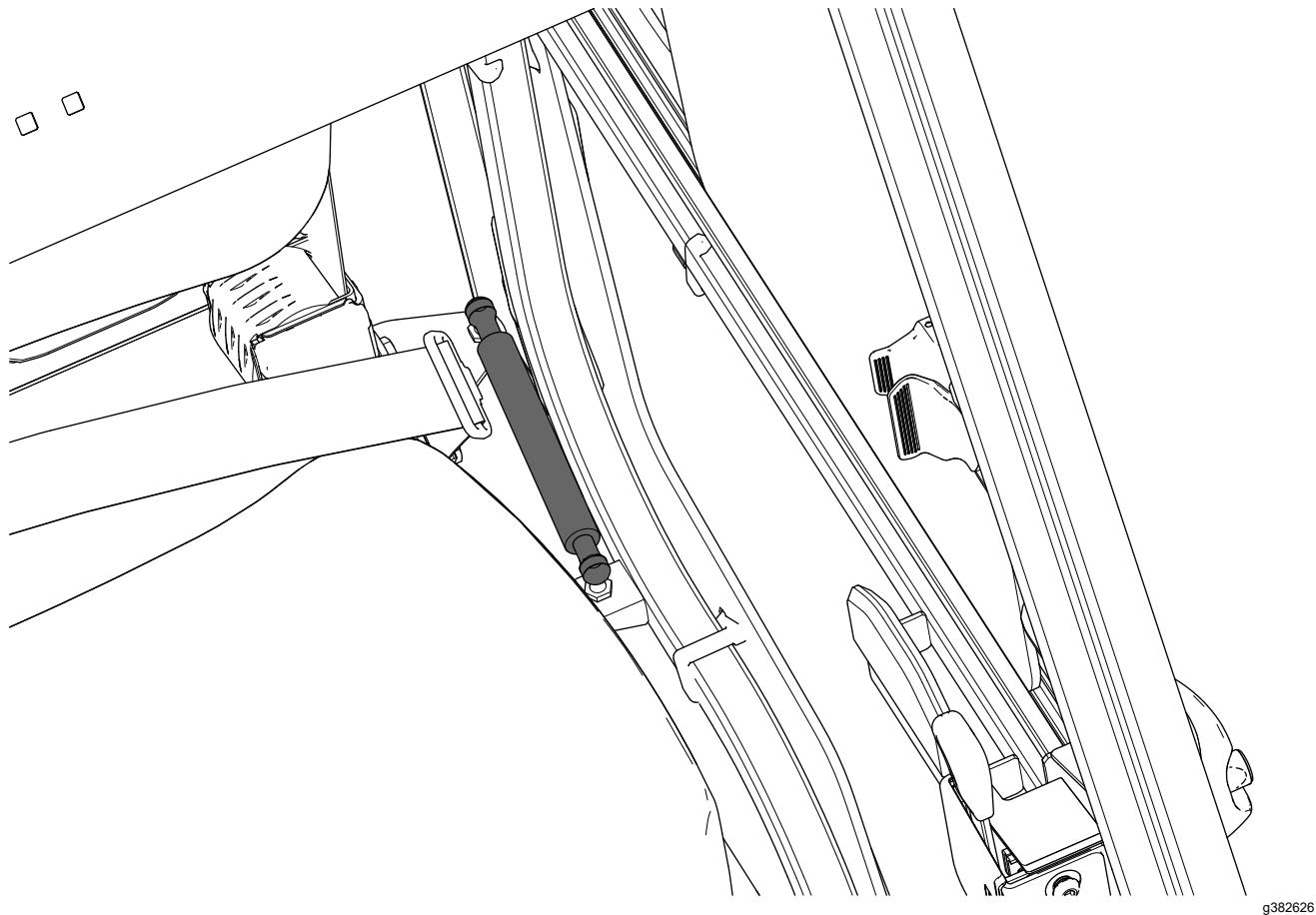
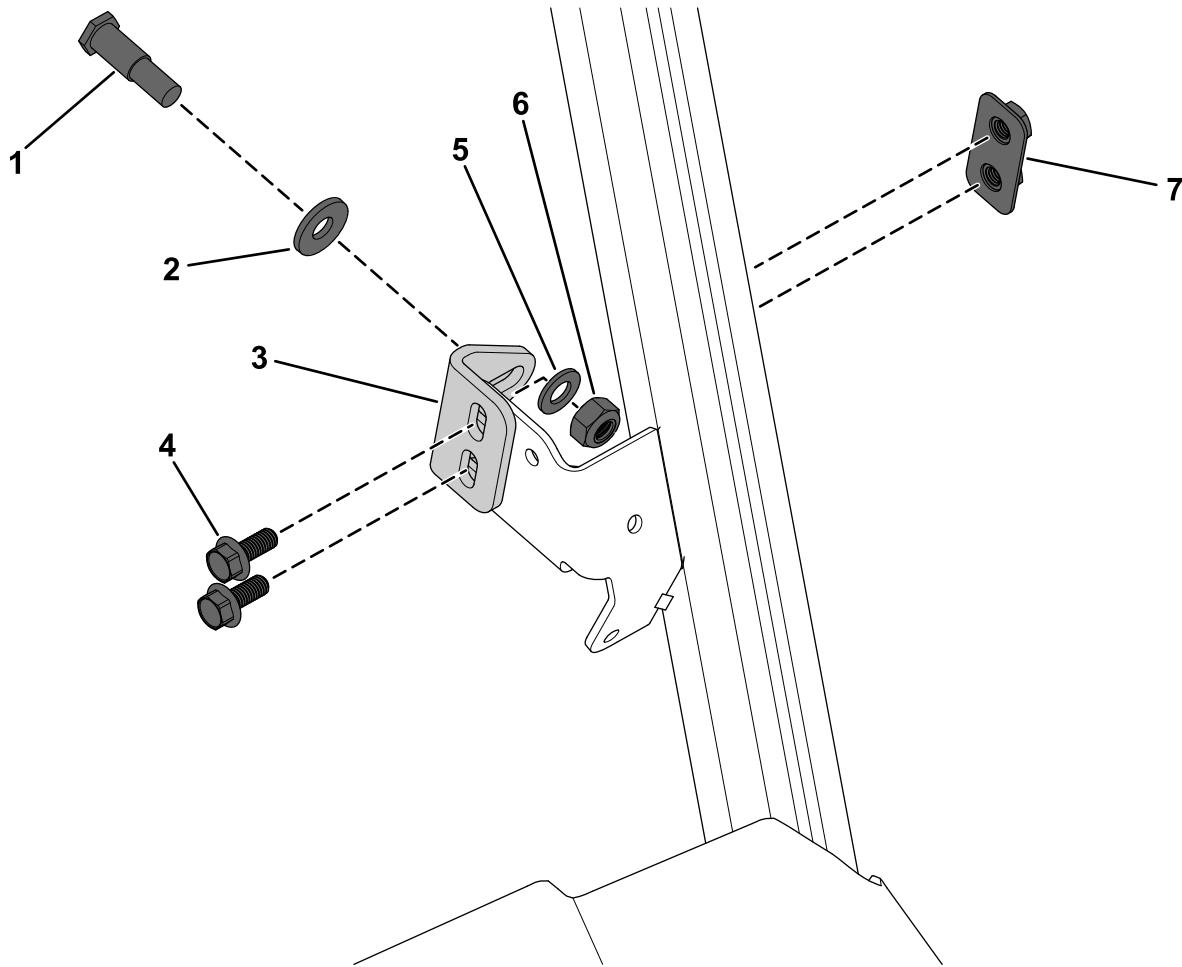


図 8

- 
6. 左ドアを閉じる。
  7. 二人がかりで、ドアの周囲のすき間が均一になっていることを確認する。  
必要に応じてステップ4に戻ってドア位置の調整を行う。
  8. ドアが ROPS と適切に整列していることを確認したら、図 5のフランジヘッドボルトM8 x 20 mm4本を  
 $26 \text{ N}\cdot\text{m} 2.65 \text{ kg.m} = 230 \text{ in-lb}$ にトルク締めする。  
その後に、図 7のドア蝶番用六角ヘッドボルトM8 x 25 mm3 本を  $26 \text{ N}\cdot\text{m} 2.65 \text{ kg.m} = 230 \text{ in-lb}$ にトルク締めする。
  9. 左ドアを開ける。

10. 左側ドア用ラッチブラケットに、ラッチブラケットを仮止めするナットプレート1枚、フランジヘッドボルトM8 x 20 mm2本、ベルヴィールワッシャ1枚、平ワッシャ1枚ストライカピン1本、六角ナット1個を使用して図9のように取り付ける。

ベルヴィールワッシャは、湾曲部をラッチブラケットの反対側に向けて取り付けること。



g382628

図9

- |                         |            |
|-------------------------|------------|
| 1. ストライカピン              | 5. 平ワッシャ   |
| 2. ベレヴィールワッシャ皿ばね        | 6. 六角ナット   |
| 3. ラッチブラケット             | 7. ナットプレート |
| 4. フランジヘッドボルトM8 x 20 mm |            |

- 
11. ドアラッチの中央にストライカピンを取り付け、ストライカピンの六角ナットを 51 N·m 5.3 kg.m = 38 ft-lb にトルク締めする。
12. 左ドアの窓を開けてラッチブラケットアセンブリにアクセスできるようにする。
13. 車両の外側に立ってドアを静かに閉め、ストライカピンがラッチと垂直位置で係合することを確認する。必要に応じてラッチブラケットの上下位置を調整する。

ブラケットが適正位置にあることを確認したら、フランジヘッドボルトM8 x 20 mm2本を 26 N·m 2.65 kg.m = 230 in-lb にトルク締めする。

14. ドアストライカピンに適切な負荷が掛かるように、調整する。

ドアを閉める時にカチッという音が 2 回聞こえるのが適切な調整状態である。音が 2回聞こえるように、またドアがぴったりと閉まるようにストライカピンを出し入れしてピンの位置を調整する。

閉じているドアのハンドルに手を掛けた時にドアがガタついてはいけない。

注 ドアをぴったりと閉じるのに多少の力が必要なのが適正状態である。

15. 機体の右側でも同じ作業を行う。

メモ



**Count on it.**